

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)						
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標					
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	1	⑥ ⑪ ⑬	浸水対策事業	下水道計画課	近年、集中的な豪雨に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、公共下水道の整備を進め、流域全体の浸水に対する安全度の向上を図る。	浸水被害の抑制（累計）	—	目標	—	1 地区	3 地区	重点整備地区（9地区）の雨水整備（R7年度）	継続	1,760,000	2,850,000	増額	165,200	順調	引き続き、計画的に整備を進める。	順調	今後も整備箇所ごとの現場の状況に応じた最も経済的かつ効率的な方法を検討し、整備を行っていく。				
						実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
						達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	2	⑥ ⑨ ⑬	地震対策事業（水道施設）	計画課	大規模な地震が発生した場合においても、安全で安定的な給水を確保するため水道施設の耐震化を実施するもの。	浄水施設耐震化率	33.2% (R1年度)	目標	浄水 59.2% 配水池 54.1%	浄水 59.2% 配水池 55.7%	浄水 59.2% 配水池 55.7%	浄水施設耐震化率 77.5% (R10年度) 配水池耐震化率 60.1% (R7年度)	継続	288,216	78,964	減額	4,610	順調	耐震化計画に基づき、計画どおり耐震化を実施していく。	順調					
						配水池耐震化率	54.1% (R1年度)	実績	浄水 59.2% 配水池 54.1%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
						達成率	100.0 %	100.0 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	3	⑥ ⑨ ⑬	地震対策事業（下水道施設）	施設課	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるように下水道施設の耐震化を実施するもの。浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などから排水を受ける重要な15ポンプ場の耐震化に取り組む。	下水道施設の耐震化率（ポンプ場、浄化センター水処理施設）	0.0% (H26年度)	目標	15.3 %	—	—	18.2% (R6年度)	継続	120,000	190,000	増額	10,690	順調	引き続き浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などからの排水を受ける重要な15ポンプ場の耐震化を優先的に進める。	順調	水道施設及び下水道施設について、引き続き、計画どおり耐震化を実施していく。				
						実績	11.0 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
						達成率	71.9 %	71.9 %	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
II-1-(4)-⑤ 公共施設などの耐震化の推進	3	⑥ ⑨ ⑬	地震対策事業（下水道施設）	施設課	大規模な地震が発生した場合においても、最低限の下水処理が行えるように下水道施設の耐震化を実施するもの。浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などから排水を受ける重要な15ポンプ場の耐震化に取り組む。	重要な15ポンプ場の耐震化率	—	目標	—	20.0 %	46.7 %	重要な15ポンプ場の耐震化率 73.3% (R7年度)	継続	120,000	190,000	増額	10,690	順調	引き続き浄化センターに近接するポンプ場や災害拠点病院などからの排水を受ける重要な15ポンプ場の耐震化を優先的に進める。	順調	水道施設及び下水道施設について、引き続き、計画どおり耐震化を実施していく。				
						実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
						達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										← 【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標
II-3- (4)-② 国際協 力・交 流の推 進	4	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	上下水道技術 の国際協力	海外事 業課	アジアを中心とした国や地域（カンボジア、ベトナム国ハイフォン市など）への職員派遣や海外からの研修員受入などにより、本市の浄水技術や漏水削減などの技術の移転、下水道の計画づくりや維持管理等に関する指導を行うこと、海外の技術者の育成を進め、世界の水環境改善に貢献する。 併せて、国際技術協力を通じ、技術の継承や実務能力の向上など、本市職員の育成にも寄与する。	国際技術協力で アジアの発展に 貢献	目標	—			発展途 上国の 技術向 上	継続	57,316	72,982	増額	42,100	遅れ	引き続きアジアを中心とした国や地域への職員派遣や、海外からの研修員受入によって、対象地域の技術・人材育成に貢献する。 また、国際技術協力を通じて人的ネットワークの構築を図りながら、本市職員の技術の継承や実務能力の向上など人材育成にも寄与する。	遅れ	日明浄化センター（ビジターセンター）などの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察を受け入れ、効果的な国際技術協力事業を実施する。
							実績	—												
							達成率	—												
						海外からの研修 員受入人数	目標		380 人	380 人	海外の 技術者 の育成 ・ 世界の 水環境 改善に 貢献									
							実績	—												
							達成率													
III-1- (3)-① 安全で 安定し ておい しく飲 める水 道の整 備	5	⑥ ⑪ ⑬	配水管更新事 業	計画 課	老朽化した配水管を計画的に更新することにより、漏水、赤水、不出水の解消や管破損事故を防止し、安全で安定的な給水を確保する。	安全で安定的な 給水の確保	目標	—			40年以 上経過 した普 通・高 級鑄鉄 製の配 水管が ない状 態（R2 年度）	継続	5,125,320	5,615,056	増額	296,125	順調	アセットマネジメントの手法を取り入れた第六期配水管更新計画に基づき、計画どおり更新を実施する。	順調	配水管更新事業について、第六期配水管更新計画に基づき、計画どおり更新を実施していく。
							実績	—												
							達成率	—												
						配水管の効率 的・計画的な更 新 (累計)	目標		38.5 km	77 km	185km (R7年 度)									
							実績	—												
							達成率													

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					中期 目標	成果の 方向性	R3年度	R4年度	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度			予算額 (千円)	予算額 (千円)			事業 評価	局施策 評価		
Ⅲ-1-(3)-③ 快適で 良質な 生活環 境をつ くる下 水道の 整備	6	⑥ ⑪ ⑬ ⑭	合流式下水道 改善事業	下水道計 画課	合流式下水道で 整備された地区 は、大雨時に雨水 で希釈された未処 理下水の一部が川 や海に流れ出るこ とがある。 放流先の汚濁負 荷を分流式下水道 並みに軽減するた め、合流式下水道 の改善に努め、良 好な水環境をつ くる。	良好な水環境の 実現（合流改善 達成率 R5： 100%）	—	目標 —	84.0 %	93.0 %	合流改 善の達 成 (100%) (R5年 度)	継続	1,900,000	1,600,000	減額	121,150	順調	引き続き、計画的に整備を 進める。	順調	今後も整備箇所ごとの現場 の状況に応じた最も経済的な 方法を検討し、整備を行って いく。
Ⅵ-3-(3)-④ 下水汚 泥など の循環 利用	7	⑨ ⑪ ⑫	下水道資源の 有効利用	施設 課	下水汚泥のバイ オマスエネルギー としての燃料化 や、さまざまな資 源の有効利用を行 う。	下水汚泥の有効 利用率	100% (R1年 度)	目標 99.0 %	100.0 %	100.0 %	100% (毎年 度)	継続	1,964,116	1,906,447	維持	127,275	順調	引き続き、下水道資源を有 効利用していく。	順調	引き続き、下水道資源を有 効利用していく。
Ⅶ-1-(3)-② 上下水 道、消 防、交 通など の分野 におけ る国際 協力の 推進	8	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	上下水道技術 の国際協力	海外事 業課	アジアを中心と した国や地域（カ ンボジア、ベトナ ム国ハイフォン市 など）への職員派 遣や海外からの研 修員受入などによ り、本市の浄水技 術や漏水削減など の技術の移転、下 水道の計画づくり や維持管理等に関 する指導を行うこ とで、海外の技術 者の育成を進め、 世界の水環境改善 に貢献する。 併せて、国際技 術協力を通じ、技 術の継承や実務能 力の向上など、本 市職員の育成にも 寄与する。	国際技術協力で アジアの発展に 貢献	—	目標 —	／	／	発展途 上国の 技術向 上	継続	57,316	72,982	増額	42,100	遅れ	引き続きアジアを中心とし た国や地域への職員派遣や、 海外からの研修員受入によっ て、対象地域の技術・人材育 成に貢献する。 また、国際技術協力を通じ て人的ネットワークの構築を 図りながら、本市職員の技術 の継承や実務能力の向上など 人材育成にも寄与する。	やや 遅れ	国際協力事業については、 日明浄化センター（ビジター センター）などの国際戦略拠 点を活用しながら、技術研修 や視察などを受け入れ、効果 的な国際技術協力事業を実施 する。 海外水ビジネスについて は、北九州市海外水ビジネス 推進協議会との連携を深めな がら、国際戦略拠点を活用 し、本市及び市内企業の上下 水道に係る技術や製品をアジ アを中心としたビジネス対象 国に発信するとともに、アジ ア低炭素化センターと協力し つつ、受注拡大を目指す。
					海外からの研修 員受入人数	—	目標 ／	380 人	380 人	海外の 技術者 の育成 ・ 世界の 水環境 改善に 貢献	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度										中期 目標	
9	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	海外水ビジネスの推進	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、今後も人口増加や都市化の進展により市場の拡大が見込まれ、国の成長戦略においても、水分野等のインフラシステム輸出を推進するとされている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて「ウォータープラザ北九州」を活用し、水ビジネスに向けた取組を進める。	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—			海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献	継続	112,826	114,075	維持	60,900	順調	国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ビジターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。			
							実績	4,227	千円												
							達成率	—													
						下水道に関するビジネス案件の受注	目標	—			海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献										
							実績	0	千円												
							達成率	—													
						市が関与するビジネス案件数	目標		6	件	6									件	海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献
							実績														
							達成率														
VII-2-(1)-① アジア 低炭素 化セン ターを 核とし た都市 インフ ラビジ ネスの 推進	① ③ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ ⑫ ⑰	海外水ビジネスの推進	海外水ビジネスの推進	海外事業課	上下水道分野などの海外水ビジネスは、今後も人口増加や都市化の進展により市場の拡大が見込まれ、国の成長戦略においても、水分野等のインフラシステム輸出を推進するとされている。本市では、平成22年に「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を設立。官民が有する技術力やノウハウを結集し、計画づくりから設計、建設、維持管理、事業運営まで、地場企業による水ビジネス案件の受注を目指して事業を展開。併せて「ウォータープラザ北九州」を活用し、水ビジネスに向けた取組を進める。	上水道に関する水ビジネス案件の受注	目標	—			海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献	継続	112,826	114,075	維持	60,900	順調	国際技術協力で培った信頼関係のもと、官民の技術やノウハウを結集した「北九州市海外水ビジネス推進協議会」を軸に、地元企業の水ビジネス展開を積極的に支援する。併せて、ビジターセンターなど水ビジネスの国際戦略拠点を活用し、地元企業の技術・製品を国内外に広く情報発信する。	北九州市海外水ビジネス推進協議会との連携を深めながら、国際戦略拠点を活用し、本市及び市内企業の上下水道に係る技術や製品をアジアを中心としたビジネス対象国に発信するとともに、アジア低炭素化センターと協力しつつ、受注拡大を目指す。		
							実績	4,227	千円												
							達成率	—													
						下水道に関するビジネス案件の受注	目標	—			海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献										
							実績	0	千円												
							達成率	—													
						市が関与するビジネス案件数	目標		6	件	6									件	海外水ビジネスを通じた地元企業の振興と国際貢献
							実績														
							達成率														